

アースデイのお祝いのための祈り

用意するもの：

地球儀

世界の四隅を表すために4本のろうそく

地球の美しさを映すイメージ、男児や女児の顔のイメージ

水の入った容器、小さな植物

北 ---- 水

南 ----- 地球

東 --- 火

西 ----- 空気

1) シンボルについて黙想します（水の音や鳥のさえずりが入っている器楽と共に）

私たちがこの地球に与えてしまったダメージについて考えましょう。私たちが母なる地球を傷つけてしまった時、同時に私たちはお互い、そして自分自身を傷つけています。それが故に、私たちを信頼して任された被造物を護らなかったことに対して...そして、神聖なるルアッハという神の息吹に開かれていないことに対して、また自分のメリットになるというだけで、考えなしに行動してしまったことに対して、私たちは許しを求めるのです。

しばらくの沈黙の後、ともに暮らす家や、私たちの内で最も貧しい兄弟姉妹たちを傷つけるような行動について、短く言いあらわします...

私たちの70%から75%は水であり、その他の自然の要素が絡み合って成り立っていることに気づくようにします...

ラウダート・シ#53の朗読を聞きながら、最初のろうそくに火を灯しましょう...

2) 以下の質問について、静かに省察しましょう：私たちはどのような世界を、私たちの後に続く者たち（子供たちや今成長している者たち）に残したいのか？

ともに暮らす家をより良くするために神と協働するというに、私は気づいているか？

しばしの沈黙の後、どのような世界を残したいのかについて簡単に分かち合いましょう（私たちの望みを手短かに分かち合う）

ラウダート・シ#43の朗読を聞きながら、二番目のろうそくに火を灯します...

3) 水の入った容器について考えてみましょう。

私たちは、水という偉大な賜物にたいして、神に感謝します。水は私たちの体に、そしてすべての生けるものに、数えきれないほどの恵みを与えてくれるからです。

しばしの沈黙の後、共に歌を歌いましょう：主よ、あなたの恵みである水を、私たちに与えて

ください（または他の適切な歌）。

歌っている間に、三番目のろうそくに火を灯します。

4) 創世記へと戻りましょう。そこで神は、ご自分が作られたものに満足していらっしゃいました...神が創られたものは良いものです、はなはだ良いものです

神と共に喜びましょう。なぜなら、私たちはこの創造の一部であり、自分たちの生き方を、根本的に意識を変える方向へと向かわせることができ、神が私たちの手に預けて下さったこの世界を保護する者となることができるからです...

私たちの現実を、もう一度読み返しましょう...環境保護のために献身し、その人生を捧げた、私たちもよく知っている女性たちや男性たちをここに挙げます。

（しばしの沈黙の後、彼らの名前を言う）

ラウダート・シ#216の朗読を聞きながら、四番目のろうそくに火を灯します...

目の前にあるシンボルについて再び考えてみるために、沈黙のための時間を設けます...

感謝を言い表します...

ともに主の祈り、天使祝詞、栄光の賛歌を唱える

終了の歌：「ラウダート・シ、ミ・シニョーレ」（または、自分の好きな歌）